



学校便り

令和4年度-NO.8

いつの時代も悩みは尽きぬ

年末だなあと感じる時、例えば、年賀状を書いている時、年末調整の申請をしている時、性懲りもなく年末ジャンボを買った時、かまぼこのCMが増えたなあと考えた時、雨が夜更け過ぎに雪へと変わる時、等々。大河ドラマが最終回を迎える時もそうです。今年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の主演、小栗旬さんの顔を見るたび、鼻の下から上唇にある縦の溝がくっきりしてるなあと思うのは私だけでしょうか？この溝のことを人中といいます。人中のある霊長類はヒトだけです。では、この溝は一体何？

人類進化の仮説の1つに「アクア説」というのがあります。ヒトが類人猿と共通の祖先から進化する過程で、一時期、水棲生活を送っていたとする説です。陸上では有利な四足歩行や体毛を捨て、自分の意志で息を止める能力を獲得したこと、陸生の哺乳類の赤ちゃんはやせ細っているのに、ヒトの新生児は皮下脂肪が多いこと、などが根拠です。人中は、ヒトの鼻の穴が下向きで、上唇を鼻孔にぴったり密着させて水中で呼気が漏れたり水が侵入したりするのを防いだ名残である、いうのもアクア説の言い分です。長い進化の歴史の中で、水中がいいか陸上がいいか、ヒトも試行錯誤してきたのでしょう。

今から150年前に学制が公布されて以来、学校制度も試行錯誤を重ねてきましたが、いつの時代も悩みは尽きません。文部科学省が10月27日に公表した調査結果では、2021年度に不登校とされた小中学生は前年度から24.9%増え、過去最多の24万4940人だったということです。コロナ禍の影響として、行事の縮小や黙食などの制限で登校意欲が減退、学級閉鎖などで生活リズムが混乱、学校を休むことへの心理的なハードルが低下、などが要因として挙げられています。もちろん不登校の要因はそれだけではありません。様々な理由が時間経過とともに積み重なっているため、理由探しが必ずしも解決への糸口とは限りません。子どもの意思を尊重しつつ、状況に応じた支援を行うことが大事です。家庭と学校とが同じ目線で、一緒に考えていけたらと思っています。

「鎌倉殿の13人」で9月11日に放送された第35話にこんなシーンがありました。源実朝が占い師「歩き巫女」に悩みを打ち明けます。「私の思いとは関わりのないところで全てが決まっていく」と。それに対して巫女は、こう回答します。「お前の悩みはお前一人の悩みではない。遙か昔から同じ事で悩んできた者がいることを忘れるな。この先も、お前と同じことで悩む者がいることを忘れるな。悩みというのは、そういうものじゃ。お前一人ではないんだ。」

今年もお世話になりました。良いお年を。



パブロフや 鐘の音聞くと 蕎麦の口

(校長 河合 康一)

【12月の予定】

- 2日（金） 中学クラブ見学(6年)
- 5日（月） なわとびチャレンジ(～14日まで)
- 7日（水） 5時間目終了後下校
- 8日（木） 避難訓練
- 9日（金） あまっ子ステップアップテスト
- 12日（月） 委員会活動
- 13日（火） 感謝する会(5時間目)
- 19日（月） ～21日（水） 個人懇談・給食後下校(給食最終日)
- 22日（木） 個人懇談(12時半下校)
- 23日（金） 終業式



【1月の主な予定】

- 10日（火） 始業式
- 12日（木） 給食開始
- 17日（火） オープンスクール(木曜時間割、6校時なし)、避難訓練
- 18日（水） 身体測定(1年)、書初め鑑賞
- 19日（木） 身体測定(2年)、書初め鑑賞
- 23日（月） クラブ活動（3年見学）、身体測定(3年)、給食週間開始(～27日)
- 24日（火） 身体測定(6年)
- 25日（水） 身体測定(のぞみ)
- 26日（木） 身体測定(5年)
- 27日（金） 身体測定(4年)
- 30日（月） 委員会活動



【感謝する会について】

日頃お世話になっている給食調理員さん、校務員さん、安全管理員さん、見守り隊の皆様、尼崎信用金庫の方々、図書ボランティアの皆様・地域の方、スクールサポートスタッフさんへ、全校生が手紙を書いて感謝の気持ちを伝えます。ある地域の方は、毎年この手紙を宝物のように受け取り、大切にご自宅に保管してくださっています。武庫小の子どもたちのために、今後ともよろしく願いいたします。

【不登校ハンドブックについて】

尼崎市を含め全国的にも不登校児童・生徒数は増加傾向にあります。この度、尼崎市教育委員会が不登校児童生徒の理解と適切な支援のため、「不登校のこども理解・支援ハンドブック」を作成しました。「尼崎市 不登校ポータルサイト」で検索していただければ、尼崎市のホームページから見るすることができます。ご関心のある方はご覧ください。